

《実践》 女性リーダー、管理職、幹部等対象

次世代女性リーダー 育成研修2019

～京都府女性中核人材育成研修～



同志社大学大学院ビジネス研究科の教員と第一線で活躍する実務者によるプログラムを通じて、現代の企業経営に求められる「女性ならではの」視点や知識、スキルを体系的に学びます。

特長

- ▶ 同志社大学大学院ビジネス研究科との連携による実践的なプログラムです
- ▶ 「女性ならではの」視点からビジネスの「今」を読み解きます
- ▶ 他業種・他企業の参加者との交流により、女性キャリアに関する「気づき」を深めます

全6回
10月31日
より開講!

同志社大学大学院ビジネス研究科

第1回 10/31(木)

企業経営と女性活躍
▶ 株式会社リーフ・パブリケーションズ
代表取締役社長 中西 真也氏

経営戦略とダイバーシティ
▶ 同志社大学大学院 ビジネス研究科
教授 河南 順一氏

京都経済センター

第2回 11/15(金)

女性のキャリアと経営
～意思決定の質を上げる～
▶ ウィズ・グロー代表/キャリアコンサルタント
山中 智香氏

京都経済センター

第3回 11/26(火)

企業活性化とカルチャー変革
～原点に立ち返り「未来」を描く～
▶ 日本航空株式会社
グローバルマーケティング部 アシスタントマネージャー
若村 茜氏

同志社大学大学院ビジネス研究科

第4回 12/9(月)

チェンジマネジメントのための
リーダーシップ
～経営組織と人的資源管理～
▶ 同志社大学大学院 ビジネス研究科
教授 井上 福子氏

京都経済センター

第5回 1/17(金)

組織人と起業家
～84歳の美容研究家が語るキャリアの道筋～
▶ 美容研究家・メイクアップアーティスト
小林 照子氏

京都経済センター

第6回 1/27(月)

ディストラクション(破壊的創造)の
時代におけるリーダー像
▶ 株式会社東急エージェンシー
執行役員 マーケティングイノベーションセンター 本部長
月野木 麻里氏

成果報告会 2/28(金)

※詳細は中面参照

※講師及びプログラム内容は変更になる場合があります。

実施・運営：京都商工会議所
協力：同志社大学大学院ビジネス研究科

日時 2019年 10/31(木)・11/15(金)・11/26(火)・12/9(月)
2020年 1/17(金)・1/27(月)・2/28(金) ※時間はいずれも13:00～17:00。

会場 同志社大学大学院ビジネス研究科 (同志社大学 寒梅館)
京都市上京区烏丸通今出川上る西側(京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅下車2番出口より北へ徒歩2分)

京都経済センター (京都商工会議所)
京都市下京区四條通室町東入
(京都市営地下鉄烏丸線「四條」駅、もしくは阪急京都線「烏丸」駅下車26番出口直通)
※会場へお越しの際は地下鉄など公共交通機関をご利用ください

定員 40名程度(先着順) 受講料 25,000円(京都府へ納付)

KWB 女性活躍支援拠点 京都ウィメンズベース

京都では、平成27年3月、経済団体等と行政による女性活躍推進組織「輝く女性応援京都会議」を発足し、平成28年3月には「京都女性活躍応援計画」を策定しました。同年8月、本計画に掲げる取組を短期集中的に実施するため女性活躍支援拠点「京都ウィメンズベース」を開設し、「次世代女性リーダー育成研修2019」など女性活躍推進に関する研修のほか、女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定支援、ワーク・ライフ・バランスの実現支援等の事業を実施しています。



同志社大学大学院 ビジネス研究科

同志社大学大学院ビジネス研究科(同志社ビジネススクール)は、伝統産業と最先端技術という多様性を背景にグローバルリーダーとしてのあるべき姿を学ぶMBAプログラムです。主に社会人を対象とする「ビジネス専攻」と、世界各国からの留学生とともに学ぶ「グローバル経営研究専攻」の2つの専攻を設置しており、企業経営に必要な専門知識を習得し、総合経営判断能力をもって国際ビジネスリーダーとして課題に対応し、問題解決力を通して経済発展を支える人材を養成しています。



お申込み・お問合せ / 京都商工会議所 会員部 研修事業課 (〒600-8565 京都市下京区四條通室町東入)

1 FAXまたはwebサイトからお申込みください。
▶ FAX:075-341-9795 TEL:075-341-9762
e-mail:jinzai@kyo.or.jp

次世代女性リーダー育成研修 2019
http://www.kyo.or.jp/kyoto/ac/event_112094.html



2 京都府から発行する納入通知書(研修第1回(10/31)にて配布)により受講料を納付してください。

[R1年10月31日～R2年2月28日] 『《実践》次世代女性リーダー育成研修2019』 申込書

会社名	事業内容	TEL
所在地	〒	FAX
受講料	25,000円(京都府へ納付)	受講料納付者(○印) 会社・受講者 従業員数
申込責任者	所属(役職)名	e-mail
受講者氏名(フリガナ)	所属部署名(役職名)	e-mail
	住所*	TEL*
	〒	

★受講者の住所とTELは、受講料を受講者が納付する場合に記入してください。
※ご記入いただきました個人情報は、本事業の管理・運営のため、主催者及び事務局の各種連絡・情報提供に利用させていただくほか、講師及び受講者に参加者名簿(会社・団体名、部署及び役職・氏名)として提供する場合がございます。
※主催者・事務局・報道機関等によって撮影された写真が、主催者等の広報物や新聞・テレビ等の媒体及び関連ホームページ等で公開されることがありますのでご了承ください。

《実践》 次世代女性リーダー育成研修2019 プログラム *Program*

～京都府女性中核人材育成研修～

女性が企業の意思決定に関与するとはどのようなことなのか。「女性ならではの」視点や感性で経営に携わる時、どのような企業価値を生み出せるのか。このような視点が必須条件となりつつある現代の企業経営の現状を踏まえ、本研修では、女性のマネジメントに対する責任と求められる資質や能力、また、出産、育児、介護に携わることを視野においたワーク・ライフ・バランスの考え方等について、参加者自身への問題提起を促し、今後のキャリア形成に活かしてもらうことを目的とします。

第1回 10/31(木) 13:00～17:00

絶えず変化するビジネス環境にあって、価値を創造し拡大するイノベーションを展開する組織にはパラダイムを転換するビジョンが求められます。そのためには、ジェンダー・国籍・文化・年齢などを越えた多様なバックグラウンド・経験・感性を持つ人材が、それぞれの才能や能力を最大限に発揮することが鍵となります。ディスラプションの時代において、従来の枠組みやプロセスを超えて女性リーダーが養うべき資質は何か。視点と発想の枠組みやアプローチを考察、議論します。

前半 企業経営と女性活躍



▶ 株式会社リーフ・パブリケーションズ
代表取締役社長 **中西 真也氏**

【略歴】
1962年京都市生まれ。東山高校卒業後、株式会社リクルート入社。1989年退職後、広告会社を設立。1996年Leaf誌を創刊。2013年ホテル事業に参入し姉小路別邸・ヴィラ三条室町・ヴィラ先斗町を開業。2017年よりカフェ・レストラン・鮎店・餃子店など飲食事業に参入。全てのビジネスは女性目線で構築することを基本とする。京都商工会議所観光・運輸部会副会長、京都ブランド推進特別委員会副委員長、烏丸通まちづくり協議会幹事。

後半 経営戦略とダイバーシティ



▶ 同志社大学大学院 ビジネス研究科
教授 **河南 順一氏**

【略歴】
同志社大学商学部卒業、アリゾナ州立大学経営学大学院MBA修了。石油会社、Apple Japan、マクドナルド等の外資系企業において、マーケティング及びコミュニケーションの責任者を歴任。特にAppleにおいてはマーケティング部長として日本におけるiMacのマーケティング戦略を担当。クパチーノの本社にてSteve Jobsと直接議論した経験を持つ。ブランディング、広告、広報等を通じた業績不振からのビジネス転換を得意分野とする。

第2回 11/15(金) 13:00～17:00

女性のキャリアと経営 ～意思決定の質を上げる～

VUCA(変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)時代に突入し、企業の組織経営、個人のキャリア等いたるところで将来の予測が難しくなってきました。そのような中でどのように質の高い意思決定をしていくのか。女性特有のワークライフジレンマは、何故そうしたのかを深く考え納得した上で選択することが重要です。仕事においても未来からのバックキャストにより今何をすべきかを考えます。女性リーダーとしての将来ビジョンの「考え方」を示し、参加者各自への問題提起を促します。



▶ ウィズ・グロー代表 / キャリアコンサルタント
山中 智香氏

【略歴】
神戸薬科大学卒業後、製薬会社、調剤薬局にて薬剤師として勤務。組織がチームとして機能するために様々な思考スキルの必要性を感じ、人材育成を支援するウィズ・グローを開業。論理思考、心理学を用いた組織開発や、シナリオプランニングによる長期戦略策定、次世代リーダー育成を担う。自身の仕事と子育ての両立の実験を踏まえ、女性のワークライフジレンマへの対応、女性キャリア支援、女性活躍研修等にも力を入れている。

第3回 11/26(火) 13:00～17:00

企業活性化とカルチャー変革 ～原点に立ち返り“未来”を描く～

一すべては、社長に宛てた、1通のメールから始まりました。ある報道を機に、自分の働く会社が非難され、社員の意欲、そして売上も下がりに続いていきました。転職という手段もある中で、私は覚悟を決め、無我夢中で社長へメールを書きました。「大好きな会社を、自分たちの手で変えたい」。このセッションでは、経営難に陥った会社を、組織変革の側面からV字回復に貢献するまでに至ったストーリーを、具体的な施策と共に伝えます。



▶ 日本航空株式会社 グローバルマーケティング部
アシスタントマネージャー
若村 茜氏

【略歴】
1984年生まれ。2004年株式会社村田製作所入社。海外営業グループで販売推進業務に従事。その後日本マクドナルド株式会社へ転職。食材のバイヤーとしてポテトやパンなどの調達に関わる中で、2014年にインシデントが発生。CEOのサラ・カサノバ氏に提案し、社内スタッフ共通の行動指針を作るプロジェクトを立ち上げ、V字回復へ貢献。現在は日本航空株式会社でグローバルマーケティングに従事。上智大学外国語学部卒業、早稲田大学大学院商学研究科卒業(MBA・経営戦略専攻)。

第4回 12/9(月) 13:00～17:00

チェンジマネジメントのための リーダーシップ ～経営組織と人的資源管理～

日本企業には「チェンジマネジメント」が欠けています。GE、ティファニー、ボーダーフォン、SAP、国際機関等で要職を歴任した経験から、本社の経営戦略と組織の狭間で、働く一人ひとりの力を発揮させる組織全体のマネジメントをいかに実施し、またそれがアカデミックな観点からどのように整理できるのか。現実と理論の双方から組織の戦略的マネジメントの要諦を示します。



▶ 同志社大学大学院 ビジネス研究科
教授 **井上 福子氏**

【専門】
人的資源管理、組織開発
【略歴】
神戸大学博士(経営学)、インディアナ大学MBA(アントレプレナーシップ専攻)、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス・アンド・ポリティカル・サイエンスMSc(比較労使関係及び人事管理)日本企業に勤務の後、留学を経て、複数の大手外資系企業及び国際機関に勤務。外資系企業では、部長職、人事部長職等、要職を歴任。国際原子力機関(ウィーン本部)の人材計画課長、上級人事担当官を経て現職。

第5回 1/17(金) 13:00～17:00

組織人と起業家 ～84歳の美容研究家が語るキャリアの道筋～

女性の活躍が珍しい時代に、株式会社コーセーで女性初の取締役となり、子育てと仕事を両立しながら企業経営に携わってきました。退社後、独立・起業し、3つの会社で美容におけるコンサルタント、新商品開発を行うとともに、後進を育成するための学校を運営しています。これまでの経験に基づいた組織及び企業経営におけるマネジメントやリーダーシップのノウハウをご紹介しますとともに、ビジネスの世界において大切な「見た目」の事例から、女性のキャリアアップの道筋をサポートします。



▶ 美容研究家・メイクアップアーティスト
小林 照子氏

【略歴】
1935年生まれ。株式会社コーセーにおいて美容について研究。「ナチュラルメイク」を創出し、数々のヒット商品で一世を風靡する。メイクアップアーティストの草分けとしても知られ、女優から一般の女性まで、あらゆる人を美しく輝かせることから「魔法の手」を持つと評される。1991年に独立し、株式会社美・ファイン研究所を創立。ビューティコンサルタントとしてビジネスに携わる一方、[FROM HAND]メイクアップアカデミー、青山ビューティ学院高等部の学園長として、美のプロフェッショナル、後進の育成に力を注いでいる。

第6回 1/27(月) 13:00～17:00

ディスラプション(破壊的創造)の 時代におけるリーダー像

日経平均株価が初めて1万円を超えた年に社会に出て、男女雇用機会均等法施行、インターネットの台頭、バブル期を経て外資に買収され、バブル崩壊...と、激動の時代の広告業界に身を置いて来た私にとって、最も大きなインパクトは「ディスラプション」という概念に出会ったことです。最初は戸惑いましたが、これはまさに未来を拓く女性リーダーにこそ役立つ思考です。柔らかい頭としなやかな心で、大胆な変革の道を歩みましょう。



▶ 株式会社東急エージェンシー
執行役員 マーケティングイノベーションセンター 本部長
月野木 麻里氏

【略歴】
中央大学法学部卒業後、日放株式会社入社。社長秘書、媒体担当を経て、メディアプランナーに。その後、TBWA日放、TBWAジャパンにてディスラプションの思考のもと、アップルコンピュータ、ハーゲンダッツ、マスターフーズなど外資系ブランドを担当し、戦略的コミュニケーションプランを立案。2005年10月、株式会社東急エージェンシーに転職、ライオン、明治など、日本企業各社のメディアプランニングに従事。左脳右脳を駆使して考え尽くすプランニング姿勢が信条。2019年10月より執行役員マーケティングイノベーションセンター本部長。

成果報告会 2/28(金) 13:00～17:00

本研修の総括として、グループに分かれた参加者が、研修の学びを踏まえたアクションプランを発表します。参加者からの一方的な報告ではなく、地元企業の経営者や参加者の所属企業の関係者、一般の参加者からコメントを求めるインタラクティブな報告会とすることで、客観的に各グループのプレゼンテーションを評価し、研修参加者の気づきを深める内容とします。

